

2002年度(2002年1月1日から
2002年12月31日まで)事業報告書

1. 事業の概要

1-1. 学術的会合

1-1-1. 第57回年次大会

会期: 3月24日(月)~27日(水)

会場: 立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市野路東1-1-1)

講演数: 3,913件

原著講演 3,641件 シンポジウム講演 237件 特別・招待講演 32件 総合講演 2件 インフォーマル追加講演 1件

参加登録者数: 5,126名

会員 4,991名(一般 3,280名 学生 1,711名)

非会員 135名(一般 55名 学生 80名)

総合講演: びわ湖ホール(滋賀県大津市打出浜 15-1)

「人と光の関わりから教育と研究を考える」 60分 霜田光一

「高分子科学の発展と導電性高分子」 60分 白川英樹

ほかに、現地実行委員会企画で一般市民向け講演会「市民科学講演会」(立命館大学びわこ・くさつキャンパスローム記念館 5F 大会議室, 3月24日(日), 参加者約100名)を開催した。

1-1-2. 2002年秋季大会

1-1-2-1. 素粒子・核物理・宇宙線関係大会

会期: 9月13日(金)~16日(月)

会場: 立教大学池袋キャンパス(東京都豊島区西池袋 3-34-1)

講演数: 717件

原著講演 652件 シンポジウム講演 42件 特別講演 17件 追加講演 6件

参加登録者数: 920名

会員 879名(一般 561名 学生 318名)

非会員 41名(一般 5名 学生 36名)

ほかに、現地実行委員会企画で一般市民向け講演会「市民科学講演会: 21世紀と知の原風景 ―学問する姿勢―」(立教大学池袋キャンパススタッカーホール, 9月16日(月), 参加者約150名)を開催した。

1-1-2-2. 物性関係を含む上記以外の大会

会期: 9月6日(金)~9日(月)

会場: 中部大学(愛知県春日井市松本町 1200)

講演数: 2,992件

原著講演 2,824件 シンポジウム講演 144件 特別講演 17件 追加講演 7件

参加登録者数: 3,543名

会員 3,436名(一般 2,286名 学生 1,150名)

非会員 107名(一般 36名 学生 71名)

ほかに、現地実行委員会企画で地元のお母さんたちによる一般市民向けの「市民科学講演会 お母さんたちによる親と子のわくわく科学ひろば イン 春日井」(中部大学サブアリーナ, 9月8日(日), 参加者午前・午後ともに約180名)と題した実験、展示・演示実験、大道実験授業、等を開催した。

1-1-3. 科学セミナー

セミナー名: ボース・アインシュタイン凝縮から高温超伝導へ ―超流動、超伝導の新しい世界―

会期: 7月29日(月)~30日(火)

会場: 江戸川区総合区民ホール小ホール(東京都江戸川区船堀 4-1-1)

演題: 11題

聴講者: 162名(会員55名, 大学院生44名, 学部学生24名, 協賛学会および賛助会員15名, 一般7名, 高校教員17名)

1-1-4. 公開講座

文部科学省から科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」の補助を受け、主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の公開講座(聴講無料)を開催した。

1-1-4-1. 九州支部企画

企画名: 身のまわりのふしぎな物理現象(助成額80万円)

会期: 7月13日(土)

場所: 九州大学国際研究交流プラザ

聴講者: 74名

1-1-4-2. 北陸支部企画

企画名: 物理学で拓がる世界(助成額140万円)

会期: 9月1日(日)

場所: 金沢市文化ホール

聴講者: 300名

1-1-4-3. 理事会企画

企画名: 超低温気体のボース・アインシュタイン凝縮 ―物質の粒子性と波動性―

(助成額124万円)

会期: 11月2日(土)

場所: 東京大学駒場キャンパス13号館1313室

聴講者: 132名

1-1-4-4. 大阪支部企画

企画名: 光とナノサイエンス(助成額135万円)

会期: 11月30日(土)

場所: 大阪科学技術センター大ホール

聴講者: 60名

1-1-5. 国際会議

1-1-5-1. 第23回低温物理学国際会議(LT23)

(23rd International Conference on Low Temperature Physics)

共同主催: 日本学術会議, 応用物理学会, 低温工学協会, 日本物理学会

会期: 8月20日(火)~27日(火)

場所: 広島国際会議場(広島平和記念公園内)

参加者: 1,533名

1-1-5-2. 早稲田国際シンポジウム「基礎物理学」―量子物理学における新たな将来展望―

(Waseda International Symposium on Fundamental Physics—New Perspectives in Quantum Physics—)

主催: 早稲田大学, 早稲田大学 COE「分子ナノ工学」

会期: 11月12日(火)~15日(金)

場所: 早稲田大学国際会議場(東京都新宿区西早稲田 1-6-1)

参加者: 105名

1-1-5-3. 第2回国際ワークショップ「ナノスケール分光法とナノテクノロジーへの応用」

(2nd International Workshop on Nano-scale Spectroscopy and Nanotechnology)

主催: 潮田資勝, G. Salviati

会期: 11月25日(月)~11月29日(金)

場所: 国際文化会館(東京都港区六本木 5-11-16)

参加者: 78名

ほかに24件の国際会議の協賛・後援を行った。

1-1-6. その他

1-1-6-1. 支部例会, 支部特別企画等

本会の10支部において, 例会, 公開講座等の会合を開催した。

1-1-6-2. 国内会議等の共催・協賛・後援

126件の国内会議等の共催・協賛・後援を行った。

1-1-6-3. 国立科学博物館, 日本物理教育学会との共催事業

「自然の不思議 ―物理教室―」

共同主催: 日本物理学会, 国立科学博物館, 日本物理教育学会

会期: 6月8日(土), 7月13日(土), 9月14日(土), 10月26日(土), 12月14日(土)

場所: 国立科学博物館新宿分館(東京都新宿区)

1-2. 刊行関係

1-2-1. 日本物理学会誌

第57巻第1号~12号を刊行した。

A4変形判, 月刊。

ページ数: 総ページ1,616 月平均134.7ページ(予算150ページ)

刊行部数: 総刊行部数238,600 月平均19,883(予算20,300)

ほかに年次大会・秋季大会のプログラムとして3月号付録129ページ(本文)20,300部と8月号付録134ページ(本文)20,300部を刊行した。

1-2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)

Vol. 71

No. 1~13の13冊(No. 13は Volume Index)を刊行した。A4判, 月刊。
ページ数: 総ページ数 3,103(Index含まず) 月平均(Index含まず)259
(予算 320)

発行部数: 総発行部数 20,500 月平均(Index含まず)1,700(予算
1,800)

掲載論文: 本論文 330 Letters 174 Short Notes 45 Addenda 7
Comments 2 Errata 6

1-2-3. 講演概要集
A4判 各4分冊

分冊	第57回年次大会		2002年秋季大会	
	刊行部数	本文ページ数	刊行部数	本文ページ数
1	450	102	450	91
2	1,250	264	1,250	232
3	1,350	244	1,350	226
4	1,550	321	1,550	288

1-2-4. 大学の物理教育

B5判 年3回(3月, 7月, 11月)発行 総ページ数 188 1号平均約63
ページ 毎号2,300部刊行

1-2-5. 科学セミナーテキスト

7月に開催した科学セミナー「ボース・アインシュタイン凝縮から高
温超伝導へ—超流動, 超伝導の新しい世界—」のテキスト B5判
141ページ 500部刊行

1-2-6. 公開講座テキスト

次の企画のテキストをそれぞれ刊行した。

1-2-6-1. 九州支部企画

「身のまわりのふしぎな物理現象」 A4判 38ページ 300部刊行

1-2-6-2. 北陸支部企画

「物理学で広がる世界」 A4判 22ページ 1,000部刊行

1-2-6-3. 理事会企画

「超低温気体のボース・アインシュタイン凝縮—物質の粒子性と波動
性—」 B5判 73ページ 500部刊行

1-2-6-4. 大阪支部企画

「光とナノサイエンス」 A4判 32ページ 1,000部刊行

1-2-7. JPSJ CD版

2001年分を作製

1-2-8. JPSJのSupplements

1-2-8-1. JPSJ Vol. 71 (2002) Supplement

Proceedings of the International Conference on Strongly Correlated Elec-
trons with Orbital Degrees of Freedom (ORBITAL2000)(電子軌道の秩
序化と揺らぎによる新しい物性) A4判 367ページ

1-2-9. 本会編の単行本

「21世紀, 物理はどう変わるか」 日本物理学会編 裳華房発行
A5判 253ページ 本体価格4,200円

1-2-10. 日本物理学会会員アンケート分析報告—女性研究者編—

日本語版 40ページ 1,000部作製 送料込 500円
英語版 20ページ 500部作製 (頒布予定なし)

1-3. 国際交流・協力

国際交流・協力として, 次のような事業を行った。

1-3-1. AAPPS(アジア・太平洋物理学会連合)の加盟学会として活動支
援, 機関誌 AAPPS Bulletin の刊行援助, 総会への代表派遣

1-3-2. ASPEN (Asian Physics Education Network) への協力

1-3-3. 開発途上国からの投稿者への JPSJ 別刷代援助

1-3-4. 開発途上国等への JPSJ の寄贈

1-3-5. IUPAP (International Union of Pure and Applied Physics) への活
動支援

(3月にパリで開催された国際会議「Women in Physics」, 10月にベルリ
ンで開催された総会への代表派遣を含む)

1-3-6. 韓国物理学会創立50周年記念式典への代表派遣

1-3-7. ヨーロッパ物理学会会長会議への代表派遣

1-4. 図書雑誌および物理学史資料の供覧

本会所蔵の図書・雑誌, 物理学史資料を会員の利用に供した。

1-5. 第7回論文賞の表彰

JPSJ および PROGRESS に掲載された論文の中から, 優れた論文3篇
を選び表彰した。

1-6. 日本学術会議および文部科学省等への協力

日本学術会議, 物理学研究連絡委員会(物研連)活動への協力を行った。

1-7. 物理教育・理科教育, 男女共同参画に関する活動

1-7-1. 「理数系学会教育問題連絡協議会」関係

1-7-1-1. 代表派遣

1-7-1-2. 「教科書検定に関する意見書」の提出および記者会見の実施

1-7-2. 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係

1-7-2-1. 物理・応用物理学関連分野での試行審査の実施

1-7-2-2. NEDOの補助を受けての海外調査の実施

1-7-3. 男女共同参画学協会連絡会への参加

1-8. 電子化・ホームページ関係

1-8-1. ホームページによる本会の情報公開

1-8-2. 分科・領域 web 開設

1-9. 物理系学術誌刊行協会(IPAP)への運営協力

JPSJの編集・刊行を委託している「物理系学術誌刊行協会(IPAP)」
への運営協力を行った。

1-10. その他

1-10-1. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 107 No. 1~6, Vol. 108
No.1~6を刊行した。

B5判, 月刊

ページ数: 総ページ数 2,588 月平均 216(予算 220)

刊行部数: 総刊行部数 13,200 月平均 1,100(予算 1,100)

掲載論文数: 本論文 124(うち Invited Paper 1) Letters 18

なお上記のほか Supplement No.144~146の3冊を刊行した。

2. 処務の概要

2-1. 総会・役員会等に関する事項

2-1-1. 第74回通常総会

3月16日(土)午後, 機械振興会館で開催した。2001年度事業報告書(会
員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書, 2002年度事業計画書・
収支予算書が原案通り承認された。また, 第59期会長(潮田資勝氏),
第58期~59期理事, 第58期~59期監事を選出した。

2-1-2. 理事会

下記期日に開催した。

第420回	1月19日	第421回	2月16日	第422回	3月16日
第423回	4月13日	第424回	5月11日	第425回	6月15日
第426回	7月13日	第427回	8月23日	第428回	9月3日
第429回	10月19日	第430回	11月16日	第431回	12月7日

2-1-3. 特別委員会

下記期日に開催した。

2-1-3-1. 会誌編集委員会議

1月19日	2月23日	3月16日	4月20日	5月18日
6月15日	7月13日	8月6日	9月21日	10月19日
11月16日	12月21日			

2-1-3-2. JPSJ 編集委員会議

1月22日	2月20日	3月20日	4月20日	5月20日
6月21日	7月23日	8月21日	9月27日	10月22日
11月26日	12月25日			

2-1-3-3. 刊行委員会議

11月6日

2-1-3-4. 受賞候補等推薦委員会議

1月17日 7月15日 9月18日

2-1-3-5. 論文賞選考委員会議

2月26日

2-1-3-6. 物理学史資料委員会議

3月20日 7月23日 11月2日

2-1-3-7. 物理教育委員会議

1月12日 3月2日 4月27日 6月1日 6月29日
9月28日 11月30日

2-1-3-8. 電子化企画調整委員会議

2月5日 4月17日 6月17日 9月18日 10月16日

2-1-3-9. JABEE 委員会議

3月18日 4月15日 12月26日

2-1-3-10. 男女共同参画推進委員会議(3月16日に設置決定)

7月17日 8月21日 10月7日 11月16日

2-1-4. その他

上記のほか会計理事会議および理事会・特別委員会内に設置された小
委員会議, 大学の物理教育編集委員会等を必要に応じて開催した。

2-2. 許可, 認可および承認に関する事項

申請月日	申請先	申請事項	指令月日
(なし)			

2-3. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
8月9日	(株)日本評論社	「ボース・アインシュタイン凝縮から高温超伝導へ」出版に関して	—
10月1日	(株)東京洋紙店	「日本物理学会誌」用紙供給に関して	1年
11月25日	(株)裳華房	「21世紀、物理はどう変わるか」出版に関して	—

3. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2001年 12月31日現在	2002年 12月31日現在	
正 会 員	18,815 ¹⁾	18,228 ²⁾	-587
学生会員	143	93	-50
賛助会員	103 (444口)	102 (429口)	1 (-15口)
特別会員	1,101 ³⁾	973 ⁴⁾	-128
計	20,162	19,396	-766

¹⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 598, 大学院生で学生会員会費適用者 2,744

²⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 610, 大学院生で学生会員会費適用者 2,584

³⁾ 会誌: 国内 345 国外 12, JPSJ: 国内 258 国外 486

⁴⁾ 会誌: 国内 313 国外 5, JPSJ: 国内 202 国外 453